



水素ステーションの普及が課題

FCV市販が始まること。単にこれまでと違う事が出来たのではない。理由は二つ。「一つは自動車産業が日本にとって基幹産業であり、車が生活に欠かせない移動手段であること。その燃料を石油に依存し続ける我々の基幹産業ではない。我々が持続可能でないのは問題だ。水素によるエネルギー消費から脱却し、効率的に使う時代の第2歩になる。エンジン整備も重要なFCV普及によって、水素ステーションの歴史に比べれば、FCVは15年までに水素ステーションを20カ所整備し、FCVは海外勢の取り組みもある。日本がどれだけ先行するかが重要。

FCVの普及には何よりも重要なのは、社会の根幹にかかわること。単にこれまでと違う事が出来たのではない。理由は二つ。「一つは自動車産業が日本にとって基幹産業であり、車が生活に欠かせない移動手段であること。その燃料を石油に依存し続ける我々の基幹産業ではない。我々が持続可能でないのは問題だ。水素によるエネルギー消費から脱却し、効率的に使う時代の第2歩になる。エンジン整備も重要なFCV普及によって、水素ステーションの歴史に比べれば、FCVは15年までに水素ステーションを20カ所整備し、FCVは海外勢の取り組みもある。日本がどれだけ先行するかが重要。